

宗像市議会

議長 神谷 建一 様

予算決算第2特別委員会

委員長 上野 崇之

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

### 記

第48号議案から第53号議案までの6議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和4年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

### 第48号議案 令和4年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

- 歳入決算額 104億1,623万6,675円（前年度比1.4%増）  
歳出決算額 103億2,058万3,540円（前年度比2.5%増）  
歳入歳出差引額 9,565万3,135円
- 実質収支は9,565万3,135円の黒字であったが、前年度からの繰越金が約1億9,400万円あったため、単年度収支は約9,800万円の赤字となった。
- 被保険者数は減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛で落ち込んだ受診者数が、近年は増加しており、それに伴い保険給付費の総額が増加しているため、1人当たりの医療費が過去最大となった。
- 国民健康保険税の現年度分の収納率は97.06%で、前年度より0.69ポイント低下した。
- 医療費適正化の取組として、レセプト点検、柔道整復師施術療養費の点検、ジェネリック医薬品の普及促進、医療費通知の発送、特定健診受診者に対する運動助成券の提供などを行った。レセプト点検効果率は0.53と目標値の0.4を上回り、ジェネリック医薬品の普及促進では、先発医薬品の代わりにジェネリック医薬品を使用した場合の差額を記載した差額通知書の発送や薬剤師会等との連携による利用勧奨、ジェネリック希望カードの配布などを実施した結果、数量ベースでの普及率は目標値の80%を上回る82.9%となった。
- 社会保険適用拡大の影響を受け、社会保険加入を理由とした国民健康保険脱退が昨年度の10月から11月にかけて469件あり、前年度の同時期と比較して約60%増加したが国民健康保険税への影響はほぼなかった。
- 令和4年度の国民健康保険税は、医療給付費分及び介護納付金分は据え置き、後期高齢者支援金分は均等割額と平等割額の税額をそれぞれ200円引き下げた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対し、市独自で国民健康保険税1,845万

1,700円の減免を実施した。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- |         |              |              |
|---------|--------------|--------------|
| 1 歳入決算額 | 8,461万1,688円 | (前年度比8.0%増)  |
| 歳出決算額   | 7,977万8,122円 | (前年度比14.3%増) |
| 歳入歳出差引額 | 483万3,566円   |              |
- 新型コロナウイルス感染症関連の収入が減少したことで診療収入が減少した。
  - 電子カルテシステム・調剤支援システムの更新やマイナンバーカード対応のオンライン資格確認システムの導入などにより、医業費が増加した。

#### 【意見】

(賛成意見)

- ・1人当たりの医療費が高額となっている。市民に国民健康保険税の仕組みを周知徹底し、医療費抑制に取り組んでほしい。
- ・国民健康保険被保険者の負担軽減のために、基金を活用し、国民健康保険税の引下げや新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する保険税減免など市独自の対応をしたことを評価する。医療費適正化の取組に関しても、非常に努力していると評価する。
- ・市独自の施策で厳しい状況にある市民の生活に寄り添ったことを評価する。現行の基金条例では、政策的な使い方ができないため、今後、他市町村の事例を参考に柔軟な使い方ができるよう変更してほしい。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第49号議案 令和4年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- |         |                 |             |
|---------|-----------------|-------------|
| 1 歳入決算額 | 17億6,499万2,373円 | (前年度比4.7%増) |
| 歳出決算額   | 17億1,912万7,583円 | (前年度比4.7%増) |
| 歳入歳出差引額 | 4,586万4,790円    |             |
- 歳入及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加と、令和4年度に保険料率を改定し、均等割額を引き上げたことによるものである。令和4年度の被保険者数は1万5,260人で、前年度比554人、3.8%の増となった。
  - 保険料の現年度分の収納率は99.73%で、前年度より0.09ポイント低下した。
  - 後期高齢者医療の窓口負担割合が2割負担の対象者数は3,760人であった。

#### 【意見】

(賛成意見)

- ・後期高齢者医療の窓口負担割合が2割負担の配慮措置が3年間となっているので、将来トラブルが起らないように周知を図ってほしい。

#### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 50 号議案 令和 4 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 79億4,157万2,964円（前年度比0.5%減）  
歳出決算額 76億8,007万9,720円（前年度比1.1%減）  
歳入歳出差引額 2億6,149万3,244円
- 2 要介護認定率は13.6%と微減した。介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、利用者が利用できるサービスの選択肢の幅が広がったこと、市内日常生活圏域全てに地域包括支援センターが整備されたこと、介護予防事業に積極的に取り組んだこと等が要因と考えられる。
- 3 認知症総合支援事業では、認知症初期集中支援チームで152件について73回の会議を開催し、医療・介護サービスにつながっていなかった51人のうち28人をサービスにつなげ、認知症の人やその家族を支援した。
- 4 令和4年度は第8期介護保険事業計画の2年度目である。第8期の財政支出の計画値に対する実績値の比率は93.8%で、実績が計画を下回った。
- 5 介護給付費準備基金の年度末基金残高は13億2,715万6,845円となった。

### 【意見】

（賛成意見）

- ・高齢者の頼れるオアシスである地域包括支援センターには、地域によって活動に隔たりが生じないように支援をお願いしたい。オレンジカフェに若者を集める仕組みを考えてほしい。介護給付費準備基金は、第9期の介護保険料を設定するときどのように活用するかをよく検討してほしい。
- ・計画の実行には人材が必要である。人材確保についても議論してほしい。
- ・介護予防、認知症対応、家族の負担軽減などに対して十分に準備を整えることができたと考える。この努力を今後に結びつけるよう要望する。

（反対意見）

- ・ケアマネジャー不足などにより、保険料を払っているにもかかわらず十分なサービスが受けられない、最適なサービスが提供されていないと考える。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 51 号議案 令和 4 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,658万2,303円（前年度比3.7%増）。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和4年度は16合議体で延べ241回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で4,966件、その割合は宗像市が59.6%、福

津市が40.4%である。

- 3 歳出の主なものは、認定審査会委員等の報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第52号議案 令和4年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに5億3,471万1,436円（前年度比2.8%減）。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から旅客数、自動車航送台数ともに減少していたが、令和4年度では、令和元年度比で9割の水準に達し、回復基調にある。
- 3 Tik Tokやインスタグラムなどの若者が利用しているSNSで、大島の観光情報が広く発信されたことで、閑散期である3月の来訪者も増え、令和4年度の大島航路利用者数は20万8,963人となり、前年度比約18.7%の増となった。

#### 【意見】

（賛成意見）

- ・安全航行で令和4年度を終えたことを高く評価する。海事職の人材確保と職員の待遇改善に注力してほしい。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第53号議案 令和4年度宗像市下水道事業会計決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	30億1,760万8,254円
支出決算額	25億9,508万4,804円
- 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	1億9,848万400円
支出決算額	11億9,639万3,098円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補填している。
- 3 経営の健全性を示す経常収支比率は、減価償却費及び動力費等の費用増加に伴い、前年度比4.32ポイント減の116.27%、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比4.84ポイント減の96.08%となった。
- 4 年間総処理水量は1,071万8,203立米で、前年度比2.9%の減となった。また、年間

総有収水量は928万5立米で、前年度比1.2%の減となった。

- 5 原油・物価高騰等による下水道使用者の経済負担を軽減するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和4年10月から12月使用分の下水道使用料について、1契約1か月当たり30立米相当の金額を上限に約3億3,227万円の減免を行った。

### 【意見】

(賛成意見)

- ・下水道管の老朽化対策については財政負担が大きいと考える。他自治体の取組を参考に包括管理委託の導入を検討し、安心安全な下水道の維持管理をお願いしたい。
- ・多額の予算と長期的なマンパワーが必要になるため、人材確保や機構改編による組織強化を行うとともに、職員自身が機能的に動けるように、若い人材が長く働きながら技術を継承していきける土壌づくりにも注力してほしい。
- ・来年4月供用開始予定のし尿処理施設についてしっかりマネジメントしてほしい。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第55号議案 令和5年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ1億1,649万5千円を増額し、103億8,098万1千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出の予算総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。また、債務負担行為の補正を行う。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

- 1 令和4年度事業勘定決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額する。また、直営診療施設勘定決算額の確定に伴い、歳入で基金繰入金を減額し、歳出で繰出金を減額する。
- 2 国の制度改正に伴い、国民健康保険税の賦課システムの改修と、令和7年度からの事務処理標準システムの導入に向けた改修を開始する。令和6年度から令和7年度に必要となる経費は債務負担行為で計上する。

#### 〔直営診療施設勘定〕

令和4年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第56号議案 令和5年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ1,586万4千円を増額し、18億8,857万9千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和4年度決算額の確定に伴い、歳入で一般会計繰入金を減額して繰越金等を増額し、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第57号議案 令和5年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ2億6,265万9千円を増額し、84億3,458万5千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和4年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で諸支出金と基金積立金を増額する。令和4年度交付金等の精算に伴い、歳入で繰入金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第58号議案 令和5年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ4,241万4千円を増額し、6億8,566万9千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 来夏に新紙幣が発行されることに伴い、新紙幣に対応した券売機に改修するため、旅客一般事務費を増額する。
- 2 船舶への非常用位置等発信装置の搭載義務化に伴い、未搭載のニューじのしまとしおかぜに、簡易型AISを令和5年度末までに導入する。そのほか、資材の高騰や当初予算計上時以後に発生した不具合に係る修繕の追加により、船舶維持管理費を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第59号議案 令和5年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について**

収益的収入及び支出において、収入を1,909万2千円減額し、収入総額を29億9,865万4千円に、支出を2,377万5千円減額し、支出総額を27億2,302万5千円とする。資本的収入及び支出の補正はない。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

補正の主なものは、令和4年度決算額の確定に伴うものと、落雷により不具合が生じた神湊中継ポンプ場の点検調査を行うための委託料の増額である。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。